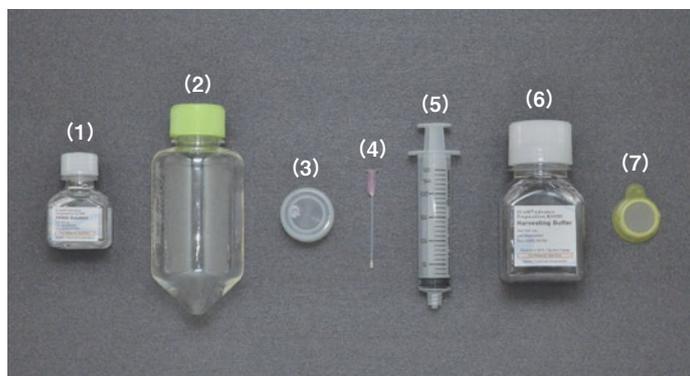


FCeM[®] Advance Preparation Kit500 培地作成プロトコール

概要

本キットは、FCeM[®] Preparation Kit(50mL用)と同様に市販培地へ浮遊性能を付与することができます。低吸着培養容器を用いれば三次元細胞培養(浮遊培養)が可能で、培養後の細胞回収はHarvesting Bufferを添加して遠心分離により高効率で回収する事ができます。

キット構成



- (1) FP003液…15mL(保管温度2-30℃)
 - (2) 225mLコニカルチューブ…1組(オートクレーブ可^{*1})
 - (3) アダプターキャップ…1個(オートクレーブ可^{*1})
 - (4) プラスチック針…1本
 - (5) 20mLシリンジ…1本
 - (6) Harvesting Buffer…110mL(保管温度2-30℃)
 - (7) 100µmセルストレーナー…1個
- *1 121℃、20分

本キット以外に必要な器具・設備

- クリーンベンチなどの無菌操作が可能な設備
- 電動ピペッター、ピペット(50mL)
- 三次元培養に使用したい任意の培地(500mLボトル入り)

培地種類	FP003液(mL)	一次作製培地量(mL)	総培地量(mL)
DMEM, EMEM, DMEM/F12 mTeSR™-1, TeSR™-E8™ Essential 8™ など	10	200	500
RPMI1640	13	200	500

注) 本製品はFP003と培地成分との相互作用により浮遊作用を発現させています。培地組成によっては浮遊作用が得られない場合があります。

お問合せ下さい

培地作製条件や操作でご不明な点、培地作製を失敗してしまった場合、浮遊効果が得られない場合等、ご不明な事が御座いましたらお気軽にお問合せ下さい。

注意

- 本製品は研究用試薬です。試験研究用以外の目的に使用しないでください。
- 手袋、保護用メガネ等により適切な身体保護を施してください。
- 本製品と眼や皮膚との接触を避け、飲み込んだり、吸引したりしないでください。
- 発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。

培地の作製方法

- ① 三次元培養に使用したい任意の培地を37℃に温めます。
- ② コニカルチューブ(2)へ任意の培地を加えます。
- ③ 培地を入れたコニカルチューブ(2)のキャップ(緑)を外し、アダプターキャップ(3)を装着します。
- ④ プラスチック針(4)をシリンジ(5)へ装着します。
- ⑤ プラスチック針を装着したシリンジで所定量のFP003液(1)を分取後、プラスチック針をシリンジから取り外します。
- ⑥ FP003液充填シリンジ⑤をアダプターキャップ装着のコニカルチューブ③へ接続し、培地作製ユニットを組上げます。
- ⑦ シリンジとコニカルチューブが緩まないようしっかりと固定し、FP003液を**できる限り速く一気に**コニカルチューブ内の培地へ添加します。(概ね5秒以内)
- ⑧ シリンジおよびアダプターキャップを外してコニカルチューブのキャップ(緑色)で密栓し、均一となるよう穏やかに転倒混和します。
- ⑨ 500mLボトルの口にセルストレーナーを装着します。
- ⑩ ピペット(推奨50~100mL)で⑧の溶液全量を⑨のボトルに移していきます。この際ピペッターは吐出スピードを急速モードにし、セルストレーナーに垂直に押しつけるように溶液を加えます。
- ⑪ セルストレーナーを取り、密栓し作製した三次元培養培地を均一となるよう穏やかに転倒混和します。
- ⑫ 一晚冷蔵(2~8℃)保管し、必要に応じ任意の成分を添加して三次元浮遊培養に御使用下さい。

注) 作製した培地は、凍結すると浮遊性能を失います。

